

当地日本人駐在員に対する強盗強事件が発生したところ、概要以下の通り報告いたします。

1 発生日時：7月12日（土）10時15分頃

2 発生場所：クリチバ市 Batel 地区デゼンバルガドール・モッタ通り（Rua Desembargador Motta）の路上（Alameda Don Pedro と Av. Vicente Machado の間）

3 事件概要：

（1）被害者駐在員が自宅からポルトガル語語学学校（大山学園）に徒歩で向かっている途次、進行方向に向かって右側の歩道を歩行中に、反対の左側歩道から車道を横切って来た男一名（20歳前後）が目の前に立ちふさがり、顔を近づけてポルトガル語で「現金(Dinheiro)をよこせ」と言った。ポケットから財布を出したところ、更に「全部よこせ(Tudo)」と言ったので、現金全て（約300BRL）を取出すと、犯人は同現金をひたたくり逃走した。

（2）同駐在員にケガ等はなく、所持していた現金以外の携帯電話、財布、カード等を強奪されることはなかった。

（3）事件当時、通りの通行人は4～5名程度とまばらでクルマの通行も少なかった。

（4）犯人がどこから現れたのかは不明で、気づいた時には、反対側の歩道からこちらに向かって早足で近づいてきた。薄汚れたコートのようなものを羽織って両手は見えず、中に拳銃等を携帯していたかは不明。なお、同じ歩道で、犯人の数メートル後ろにもう一人の男がいたが、犯人と共にすぐ見えなくなったので、同男は共犯者である可能性が高い。

〈当館からのお願い〉

・今回の事件は市内中心部で発生しており普段であれば人通りの多い通りですが、人通りの少ない休日午前中を狙った犯行と思料します。徒歩で移動する際は、人通りの少ない道路や路地を避け、遠回りであっても人通りの多い道路を歩行するようにしてください。

・犯人は被害者の油断を狙って犯行を行いますので、移動中は常に周囲に気を配り（たまに背後を確認するなど）、携帯電話やヘッドホンの使用は控えるようにしてください。